



みなさんの声が、市長へ届きます

『市政へのご意見をお寄せください』

市への意見や要望、提案などありませんか。寄せられた意見は、必ず市長が読みます。内容によっては、関係各課にも知らせ、市から意見に対して回答するほか、意見や提案は今後の市政運営の参考にさせていただきます。

●16年度の状況

市長への手紙	49件
市長へのEメール	4件
市長ファクシミリ	2件

■市長への手紙

今回の「広報のしろ」に折り込まれています。市役所受付や各出張所にもあります。

■市長へのEメール

メールアドレス nsmayor@city.nosiro.akita.jp
市のホームページから送信できます。また、ホームページから直接、各課へもメールできます。

■市長ファクシミリ

市長室にあるファクシミリで24時間受け付けています。
ファクス 89-1200

（問合せ） 広報広聴係 ☎89-2147

意識改革セミナー

今、日本の農業経営がおもしろい

『自ら作り・自ら売り・自らもうける～農産品マーケティングのすすめ』

～東北地区の元気な農家が行った組織化や販路拡大の実際～
販路拡大や経営指導で実績のある講師による1年間(6回)の講義

消費者ニーズの多様化や産地間競争の激化などに対し、農産物の産地「能代」が生き残っていくためには、農産物の品質向上などの「作る取り組み」に加え、これからは「売る取り組み」も積極的に行う必要があります。市では、生産農家や農産物加工関係の人を対象に、農産物マーケティング強化支援事業を1年かけて系統的に展開します。

第1弾として基調講演を開催しますので、ぜひ、ご参加ください。

日時…6月22日(水)
午後2時30分～4時30分
(講演90分・質疑応答30分の予定)
会場…文化会館中ホール
講師…小島壮司さん
主催…能代市

どなたでも参加できます。特に、やる気のある農家、生産組織、農業法人、食品加工関係などの皆さんの参加をお待ちしています。

＝第1回基調講演＝

1 今、日本の農業経営がおもしろい 「販路拡大・販路独自開発のすすめ」

- (1)収入は自らの手で作り出すもの
- (2)マーケティングって「なに」？
～「農業は産業！
マーケティング無き産業は無し！
自分自身の手で真の農業経営を!!」

2 元気な農家は「すぐ隣にいる」 ～農産品マーケティングの取り組み事例

- (1)最新の事例に学ぶ農産品マーケティングの実際
- (2)なぜ、農産品マーケティングに取り組んだのか
～トライアルした農家の本音を知ろう

3 きっかけがあればあなたにもできる 「農産品マーケティングの展開ステップ」

※本年度中に、あと5回のセミナーを予定しています。

（問合せ） 農林水産係 ☎89-2183